



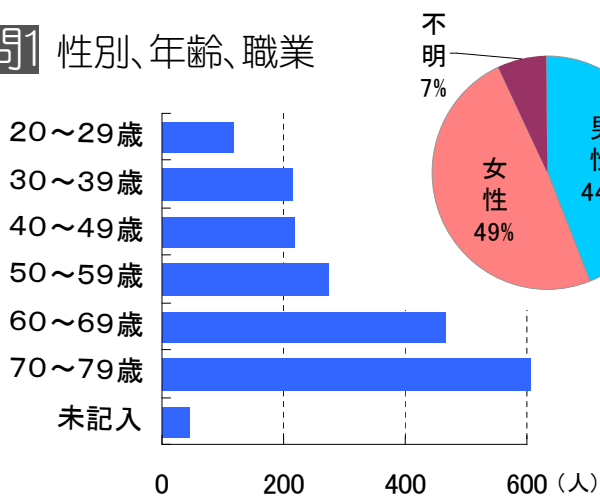
## 2009年 暮らしと雇用まもるアンケート ご協力ありがとうございました

日本共産党都議会議員団が、3月から八王子市内のご家庭に配布したアンケートには、**2000人**（6月5日現在）もの方々から回答の返信がよせられています。ありがとうございました。

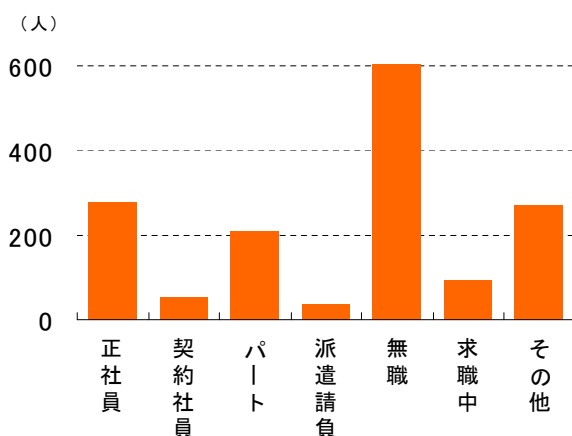
よせられたご意見やご要望の一つひとつを大切に、議会活動に生かしていきます。また、個別の相談には地元の共産党市議のみなさんと連携して対応していきます。どうぞよろしくをお願いします。

都議会議員 **清水ひで子**

### 問1 性別、年齢、職業



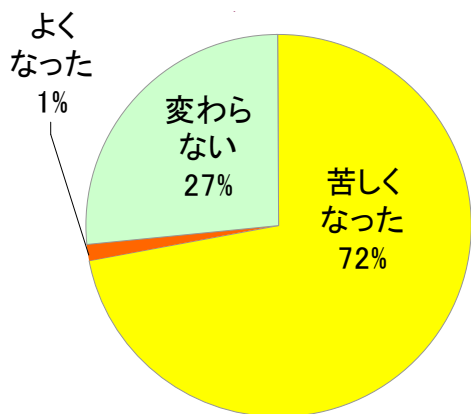
60歳以上が圧倒的です。昨年実施したときと比べると、若い世代(20代、30代)、また、女性(全世代)が増えています。



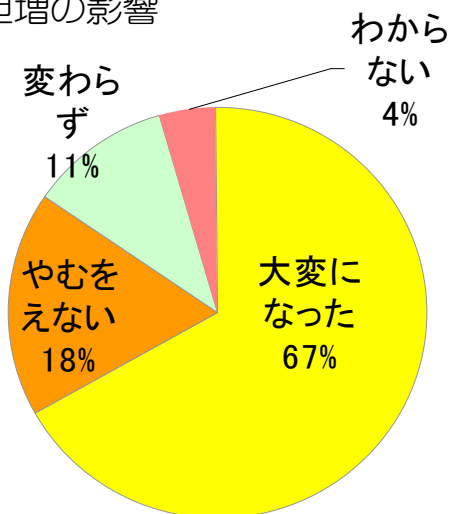
無職(年金者など)の方が圧倒的でしたが、昨年と比べると、正社員や休職中の方が増加しています。

### 問2 暮らしむきについて

(1) 最近の暮らしはいかがですか？

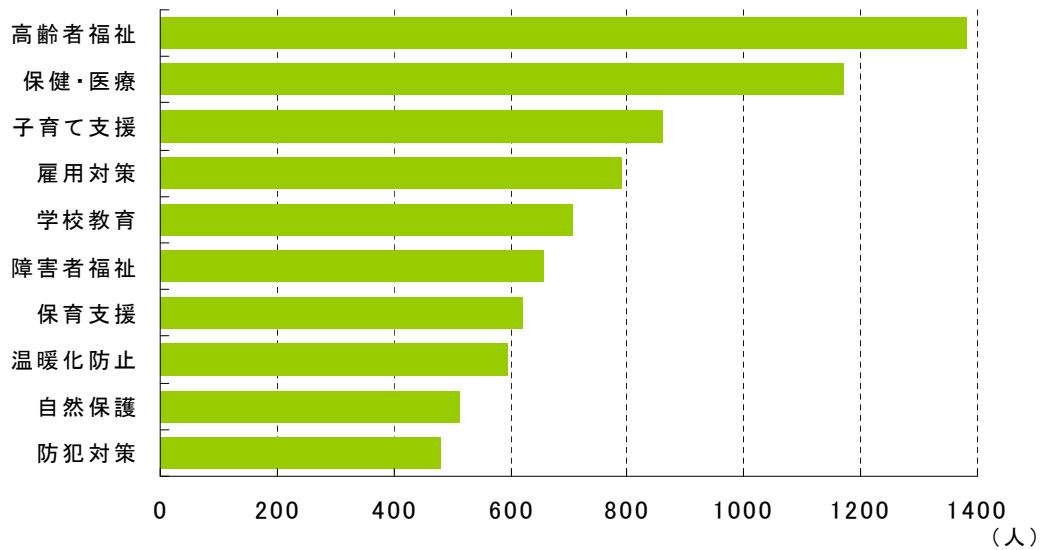


(2) 税や保険料の負担増の影響

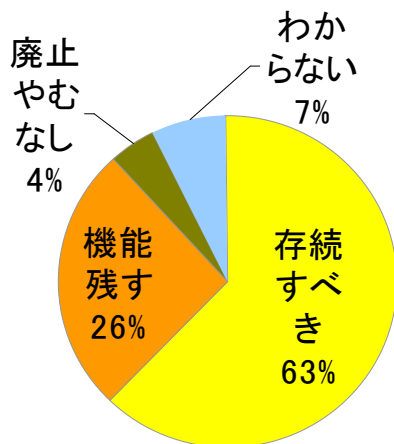


### 問3 都政で力をいれてほしいこと

#### 要望の多い上位10項目



問4 東京都は都立八王子小児病院を他の2小児病院(清瀬、梅が丘)とともに廃止し、新たに府中に「多摩総合医療センター」をつくるとしています。

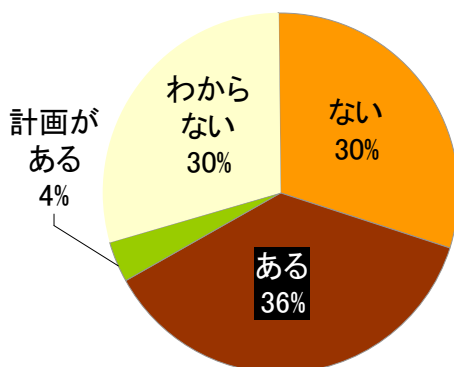


「存続すべき」「機能は残して」あわせて89%。小児病院廃止の条例は小差で可決しましたが、廃止する期日は決まっていません。

私は、都議選後の新しい議会に、小児病院の存続をもとめる条例を提案します。



問5 派遣社員や期間社員の中途解雇や雇い止め、正社員・パートの解雇など、あなたやあなたのまわりでおきていませんか



なかには「派遣切りで住むところも失い、社員寮での最後の日、命を絶った」との告発も…。

企業に人間らしい労働のルールをつくらせるたたかいは重要です。私たちも全力でがんばります。企業が集中する東京でこそ、雇用の確保、最低賃金引き上げを求めています。

**問6** あなたや、あなたのまわりの方の長時間労働、サービス残業などの状況についてお聞かせください。雇用や労働条件などでの疑問や相談があれば、お書きください。

労働実態や相談など

**615**件

みなさんからよせられた相談に応えるとともに、非正規雇用を安定雇用に切りかえ、サービス残業をやめさせるなど、人間らしい労働のルールを確立するためにがんばります。

**問7** 子育て、医療、年金、介護、ご商売のことなど、暮らしに関する相談や要望、地域の要求など、困っていることがあれば何でもご記入ください

政治への要望、  
身近な相談など

**1,027**件

税や保険料の負担のこと、医療、介護、保育、教育の悩み、バス増発などの交通対策…。

たくさんの要望をいただきました。議会でもとりあげ、実現にむけてとりくみます。

## みなさんの声から

●私は共産党の支持者ではありませんが、今回のこと(「オリンピック推進の9兆円は暮らし雇用にまわす」「都立小児病院の存続をもとめる」など)については、全面的に賛同します。(60代・男性)

●選挙時以外にも、車でこまめに演説に回ったり、このようなアンケートをとったりされているのは共産党さんだけの様な気がしています。これからもがんばってください。(20代・主婦)

●保育料をもっと下げて欲しい。一生懸命働いても、かなりの額が消えてしまう。次代をつくる子どもたちは国の宝、もっと国や都で子育て支援すべき。でないと出産も考えてしまう。お願いします(20代・女性・会社員)。

